

大東市及び四條畷市域における府管理道路の歩道整備

- 次に、大東市域の旧国道 170 号の歩道整備について伺います。
- 旧国道 170 号のうち、府道大阪生駒線が交差する中垣内交差点から鍋田橋までの約 400mの区間については、路線バスや大阪産業大学の送迎バスなどが頻繁に通る、車と自転車、歩行者が混在するなど非常に危険な状態となっています。
- このため、本箇所においては、沿道地権者から事業に協力するとの確約を取り、地元主導で、沿道の方々に事業の協力を得て、平成 26 年度から事業が始まった経緯があります。
- これまでも議会において、少しでも早く歩道整備事業を進めるよう要望してきたところであり、地元からも事業の進捗が遅いとお声も上がっています。
- そこで、当該区間のこれまでの取組状況と、今後の取組について道路環境課長にお伺いします。

A 2 (道路環境課長答弁)

- 委員お示しのとおり、大東市域における旧国道 170 号のうち、府道大阪生駒線が交差する中垣内交差点から鍋田橋までの約 400mの区間の歩道整備については、平成 26 年度から事業に着手し、これまで、中垣内交差点から市道中垣内 4 号線との交差点までの約 200mの南側区間のうち、約 170m の歩道整備が完成し、残る約 30m についても、現在、工事を実施しており、今年度内に歩道整備が完了する予定。
- また、残る市道中垣内 4 号線との交差点から鍋田橋までの約 200m の北側区間については、境界確定や物件調査、用地交渉を進めているところ。
- 引き続き、地権者に丁寧に説明し、事業の理解を深めるとともに、用地交渉を進め、まとまった用地が取得できた箇所から順次、整備を進めていく。